

アイドルオタクの出費に関する調査

藤澤ゼミ 2015 年度卒業 Y.K

1. はじめに

2014 年 12 月に矢野経済研究所が発表したデータによると、アイドルオタクは年間約 9 万円を消費していると発表された。月額に換算すると約 9,000 円であり、その金額の低さが Twitter 上で話題になった。

2. 目的

本研究の目的は、アイドルオタクにおける真の支出額を算出することである。アイドルオタクは、他のジャンルのオタクに比べて行動範囲と頻度が多く、それに伴う支出も大きい。アイドルオタクが経済活性に貢献しているということを検証する。

3. 内容と方法

本研究は、アンケートサイト「SurveyMonkey」を利用してデータ収集した。交通費、接触費、合計支出などを回答項目とし、それらのデータをもとにアイドルオタクの支出動向を確認した。

4. 結果・考察

WEB アンケートで全国から 703 件の回答を得ることができた。有効回答は 61% (425 件) だった。男女比は 2:1、平均年齢は 25.6 歳だった。

地域ごとに支出を集計した結果、最大は九州の 48,982 円/月、最少で北海道の 23,385 円/月だった (表 1)。

表 1：アイドルオタクの地域別平均月間出費額 (円)

東京	39,421	北陸	30,454
埼玉神奈川千葉	34,445	東海	42,982
関東甲信越	27,389	近畿	31,057
北海道	23,385	中国	39,750
東北	31,500	九州	48,273
		全国	35,361

次に、各地域別の支出内訳をみると、東京および埼玉神奈川千葉は交通費、接触費、入場料がおおよそ 1:1:1 であったことに対し、それ以外の地域では、交通費がおおよそ 50% を占める結果となった。首都圏のオタクは交通費がかからないためその分現場数を増やしている。一方、

地方のオタクは、少ない現場数で交通費をかけて現場に行っていることが推察される。

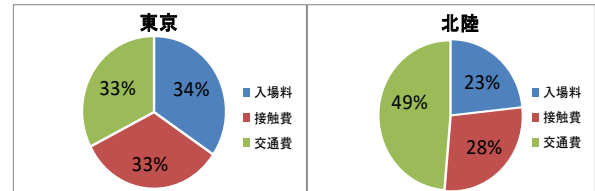
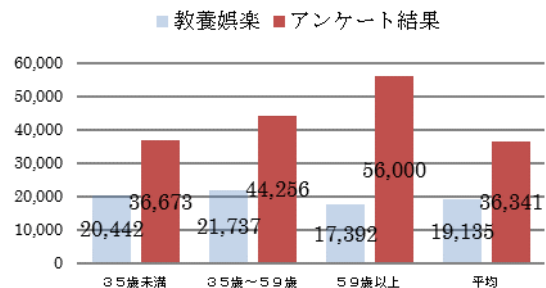


図 1：支出内訳の地方による差

オタクの対象が、メジャーアイドルか地下アイドルかによる集計では、月間交通費にあまり差がみられないが、現場数は地下が多く単価交通費がメジャーのほうが多いことから、遠征する割合はメジャーのほうが多いとわかった。

また、総務省統計局が発表した家計支出に占める教育娯楽費と比較したところ、どの年代においてもオタクの支出が上回った。以上よりアイドルオタクは、地域、年齢などにより異なるものの支出額が多いとわかった。(図 2)



出所：総務省統計局
<http://www.stat.go.jp/data/kakei/sokuhou/nen/pdf/gk02.pdf> (アクセス年月日：2015 年 11 月 25 日)

図 2：家計支出とアンケート結果の対比

5. おわりに

アイドルオタクは他の趣味と比べて支出額が多いとわかった。メジャーか否かによって支出額に大きく差が開いた。サンプルが少ないものの、教育娯楽費のと比較と交通費においては経済に一般人より貢献していることがわかった。

＜参考文献等＞

- ・総務省統計局
<http://www.stat.go.jp/data/kakei/sokuhou/nen/pdf/gk02.pdf> (アクセス年月日：2015 年 11 月 25 日)
- ・矢野経済研究所が 14 年 9 月、国内の 15～69 才までの男女 1 万 80 人を対象にしたネットのアンケート調査 (14 年 12 月 9 日発表)